



No.417

平成29年9月15日

編集発行 富山県教育委員会

発行人 教育企画課長

教委だより

特集 Stop! ザ・ネットトラブル (p2)



むずかしいところがおもしろい とやま科学オリンピック2017 県内5会場で開催!

今年7回目となったとやま科学オリンピックの小・中学校部門は、8月5日(土)に魚津高校、富山中部高校、高岡高校、砺波高校で、また高校部門(数学、物理、化学、生物)は、9日(水)に、富山大学で開催されました。

今年は、これまでで最多の1,270名の児童生徒(小学校部門361名、中学校部門547名、高校部門362名)が参加し、郷土の先人や富山の生活・暮らしなどに関連した問題に挑戦しました。

「難しかったけれど、その問題をやり遂げる楽しさがわかってよかったです」(小学生)「高校、大学、社会に出ても、似たような大会があれば参加したいと思いました」(中学生)「パートナーと答えを探しながら実験するのが楽しかった」(高校生)などの感想がありました。

今後11月初旬に開催予定の富山県教育フォーラムにおいて、成績上位者に対し、金賞・銀賞・銅賞及び特別賞を授与する予定にしています。

Contents (主な内容)

- 特集 Stop! ザ・ネットトラブル ……2p
- 新富山県教育振興基本計画の策定 ……3p
- みんなで食育の推進を ……4p
- 平成29年度 永年勤続教職員等表彰式 ……5p
- 水泳指導者講習会 ……5p
- 集団登山引率者講習会 ……5p
- 第24回 環日本海インターハイ親善交流大会 ……5p
- 教職員の多忙化解消にむけて ……6p
- 平成29年度「高校生とやま県議会」開会 ……6p
- 第34回「とやま賞」贈呈式 ……7p
- 埋蔵文化財センター 出前授業 ……7p
- 第1回 とやま親学び推進協議会、
推進リーダー等研修会を開催 ……7p
- 中学校・高等学校卒業者の進路状況調査結果 ……8p
- ストレスチェックについて ……8p
- インフォメーション ……9p
- 総合教育センターNOW ……10~11p
- 学校レポート「真の人間力を育む教育の推進
-「探究力」をもとに自ら未来を切り拓く力を育てる-」
富山県立富山高等学校 ……12p
- リレーエッセイ「何で英語をやるの?」
西部教育事務所長 阿尾 行将 ……12p

特集

Stop! ザ・ネットトラブル

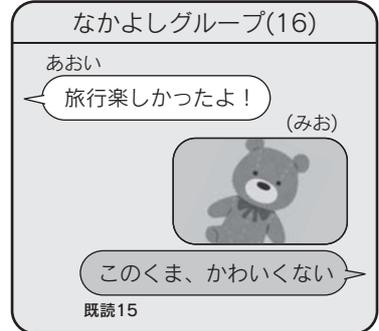
~その4~

ネットいじめ ケース1 返信がこなくなった...

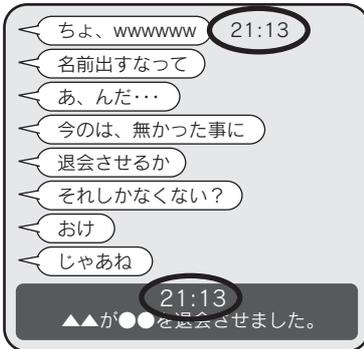
中学校1年生の16人はグループチャットをしています。
 あおいさんは、旅行先で買ったぬいぐるみをおおさんにあげました。おおさんは、うれしくて、ぬいぐるみを写真に撮り、コメントを付けてグループチャットに載せました。

⇒ その後、グループの仲間からの既読マークは付くものの、返信がこなくなりました。
 ◎ チャットでは、短文によるやりとりが中心で、意思疎通が難しく、誤解を招き、いじめ等につながるケースがあります。

みおさんのスマホ画面



自殺した女子生徒のLINE



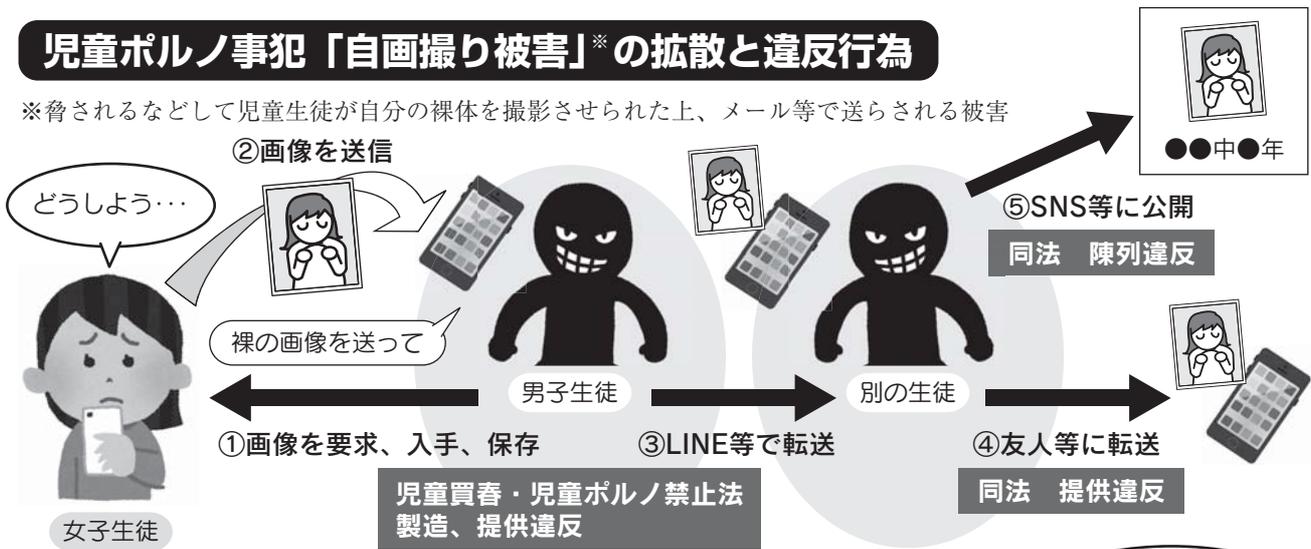
ケース2 グループチャットから外された...

昨年、他県の中学校の女子生徒が自殺した事案で、自殺の1年前に女子生徒は、グループチャットから外され、徐々に精神的に追い詰められていました。

⇒ 女子生徒をグループチャットから退会させるのにかった時間は、わずか1分間でした。
 ◎ グループ外しには、強制的にグループから退会させる方法や、特定のメンバーを除いた別の裏グループをつくって悪口をチャットする方法があります。

児童ポルノ事犯「自画撮り被害」※の拡散と違反行為

※脅されるなどして児童生徒が自分の裸体を撮影させられた上、メール等で送られる被害



知ってる? 子どもたちはこんなアプリを使っています!

LINE、twitter、Instagram だけじゃない!

Mixchannel
ミックスチャンネル

動画投稿のSNS。保存する写真や動画を簡単に編集して投稿できる。自分たちのキスシーンなどを投稿するカップル動画が人気。

ツイキャス・ライブ

動画生中継アプリ。スマホ等の内蔵カメラで自分を映しながらリスナーと会話を楽しむ。過激な言動で、逮捕された者もいる。

Hi スマとも

出会い系掲示板アプリ。GPS 機能で出会いを求める近くの人を検索し、ネット上で会話や通話ができる仕組み。援助交際の温床になっている。

是非、先生方も児童生徒の投稿を見てください!

新富山県教育振興基本計画の策定

「富山県教育大綱」の内容に即した「新富山県教育振興基本計画」が、本年4月に策定されました。この新たな教育振興基本計画は、教育大綱に盛り込まれた新たな視点の導入や大綱策定以後の国等における新たな施策を反映するとともに、数値目標を盛り込むなど実効性のある計画となっています。

3月に公示された次期学習指導要領の内容も反映されています。学校等で日々の教育活動を行う基本としてお役立ていただけるよう、冊子及び概要版を作成し、すべての教育機関に配付しました。



計画策定のポイント

- ①教育大綱の基本理念、基本方針の踏襲
- ②教育大綱の策定以後の国等における新たな施策を反映
- ③教育大綱に記載された項目のうち、今日的な教育課題を深堀り
- ④実効性のあるものにするため、数値目標を設定

新富山県教育振興基本計画

計画の策定にあたって

この計画は、県の総合計画「新・元気とやま創造計画」との整合性を図りながら、「富山県教育大綱」に即して、本県がめざす教育の姿（目標）や施策の基本的方向などを明確に示し、それらを確実に実現するために今後5年間に必要な教育施策や取組みを体系的に整理した教育に関する基本的な計画です。
計画期間は、平成29年度から平成33年度までの5年間です。

基本理念

**ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、
地域社会や全国、世界で活躍し、
未来を切り拓く人材の育成**
— 真の人間力を育む教育の推進 —

「富山スタンダード」の推進など、これまでの取組みや良き伝統を引き継ぎ、市町村や学校、家庭、地域、企業等と協力しながら、一人ひとりの子どもから大人までのそれぞれの段階で、様々な分野において、ふるさと富山に誇りと愛着を持ち広く世界に目を向け、夢や志、情熱を持って地域社会や全国、そして世界で活躍し、未来を切り拓く人材の育成に積極的に取り組み、「とやまの新しい教育」を創造し、「真の人間力」を育む本県ならではの教育を推進します。

計画の体系～9つの基本施策～

- 1 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援
- 2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進
- 3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進
- 4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実
- 5 生涯をととした学びの推進
- 6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり
- 7 次世代を担う子どもの文化活動の推進
- 8 元気を創造するスポーツの振興
- 9 教育を通した「ふるさと富山」の創生

～みんなで食育の推進を～

学校における食育を推進し、「元気とやまっ子」の育成を目指しましょう！

「毎日しっかり朝ごはん」運動

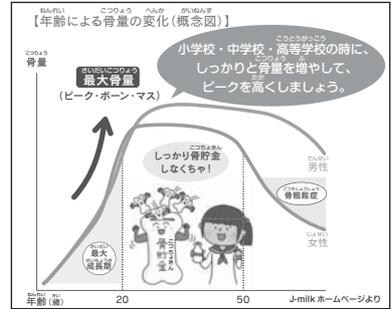
朝から元気に活動する児童生徒の育成を目指し、平成19年度より「毎日しっかり朝ごはん」運動を実施しています。

朝食の役割や朝食摂取の食習慣の大切さを啓発するため、毎年、県内全小・中・高・特別支援学校に食育カレンダーを配付しています。本年度は、「年齢による骨量の変化」のグラフを掲載し、学齢期からしっかりとカルシウムを摂取する重要性について啓発しています。また、2学期からの指導にご活用いただけるように、8月中に県内の全小・小1年生に食育教材「食育ランチマット」を配付しています。

「とやまゲンキッズ作戦（健康づくりノート）」の調査項目の朝食欠食率に関しては、本県は2%以下の低い値を維持しており（全国平均：4.5%《H28小学生：文部科学省発表》）、継続した取組の成果が現れています。

また、昨年度から追加した調査項目「朝食内容」の結果からは、全小・中学生の内、51.5%が「黄（炭水化物）赤（タンパク質）緑（野菜・果物）」の栄養バランスの取れた朝食を、43.5%が「黄赤」または「黄緑」の栄養の朝食を摂取しており、計95.0%が体温上昇を促す炭水化物とおかずを摂取していることが分かりました。

今後も、児童生徒が栄養バランスのよい朝食摂取を心がけ、朝から元気に活動できるように、引き続きご指導をお願いします。



平成29年度食育カレンダー掲載の資料



平成29年度配付食育ランチマット

<朝食欠食率（第2期「富山県食育推進計画」の目標指標）>

	策定時(H22)	現状(H28)	目標
● 朝食を欠食する子どもの割合（小学校5年生）	0.8%	0.8%	0%
（中学校2年生）	1.9%	2.0%	0%

栄養教諭等と連携し、学校教育活動全体の中で食育の推進を

食に関する指導の目標には、「食の重要性、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性、食文化への理解」があります。この目標の達成に向け、各学校においては、栄養教諭等と連携して作成した「食に関する指導の全体計画」を基に、学校給食を生きた教材として活用し、学校教育活動全体を通して、食に関する指導に取り組んでいます。

毎年、県内の全小・中・特別支援学校、県立学校給食実施高等学校に、配付している「食に関する指導実践事例集」（学校給食指導者作成）には、学級担任と栄養教諭等が連携した実践事例を掲載しています。昨年度は、学級担任がより活用しやすいように改善を図り、板書計画を核にした見開きの実践事例を数多く紹介しています。

右の写真は、小学1年生対象の正しい箸の持ち方の学習場面です。児童からは、「毎日、家でも正しい持ち方がんばりたい」という声が聞かれるなど、実践化に向けて目当てをもつ姿が見られました。

今後も、本事例集や文部科学省発行の食育教材「たのしい食事つながる食育」、県の農林水産企画課作成の副読本を学級活動等の学習で活用し、日常生活における継続的な実践化が図られるように、児童生徒へのご指導をお願いします。



氷見市立朝日丘小学校（小間陽子栄養教諭）



板書計画を核にした見開きの実践事例～事例集より～

平成29年度 永年勤続教職員等表彰式

平成29年度永年勤続教職員等表彰式が、7月3日県庁で行われました。県全体では、勤続30年が355名、勤続20年が125名、合計480名が表彰を受け、その代表者が教育長から表彰状を授与されました。

渋谷教育長は式辞で、「今日、教育県富山として全国から高い評価をいただいているのも、ひとえに皆様方の永年にわたる努力と熱意の賜物と、心から感謝します。また、皆さんの輝かしいご活躍を陰で支えてこられたご家族の方々に対しても、深く敬意を表します。本県の未来を担う子どもたちが健やかにたくましく成長していくためには、教育現場の第一線で活躍されている皆様方が、豊富な知識と経験を活かしつつ、広い視野と見識をもって、その能力を十分に発揮され、日々の業務に積極的に取り組まれることが何よりも重要です。」と謝意を表しました。

これに対して、高岡市立国吉小学校の関原秀明校長が、代表して謝辞を述べられました。



水泳指導者講習会



子どもが水に慣れ親しみ、浮く・もぐる経験をしたり、心地よく長く泳ぐことに楽しさを味わったりできるように、富山県総合体育センター屋内プールにおいて、水泳指導者講習会を開催しました。

今回の講習会では、従来の講習内容に加え、新たに海上保安庁の方に講師となっただき、水辺の事故対応について学びました。

児童の実態に合わせ、指導方法を身に付けるために、泳法指導と着衣泳を初級コースと上級コースに分けて実践しました。全ての講習は、水遊びや水泳の大好きな子どもたちが、安全で楽しく活動するために必要な内容であり、実際の指導に役立つ貴重な体験ができた、充実した講習会となりました。



浮く・泳ぐ体験をする受講者

集団登山引率者講習会 -自然の素晴らしさと厳しさの中で安全な登山引率を学ぶ-

集団登山を実施する学校の教員の引率能力向上を図るために、集団登山引率者講習会を、6月7日～8日及び14日～15日の2回、雄山及び室堂周辺で開催し、計63名の教員が参加しました。

1回目の講習会は悪天候のため、雄山登山は中止しました。しかし、山での荒天を実体験し、天候不良時の実施判断や登山中止時の代替プログラム等について考えるよい機会となりました。

参加した教員からは、「立山の歴史や自然について子どもたちに伝えたい。」「登山の専門家からわかりやすく指導してもらえてよかった。」などの声が聞かれ、有意義な講習会となりました。



実習風景「雪渓の歩き方」

第24回 環日本海インターハイ親善交流大会

8月6日(日)～11日(金)の6日間、富山県と環日本海諸国(中国遼寧省、韓国江原道、ロシア沿海地方)との高校生スポーツ交流「第24回環日本海インターハイ親善交流大会」が、富山市と射水市で開催され、バスケットボール競技(男子)と柔道競技(女子)を通して、各地域の相互理解と友情を深めました。



第24回環日本海インターハイ親善交流大会
表彰式・歓送会

教職員の多忙化解消にむけて

—「校務の業務改善推進セミナー」を高志会館で開催！—
(平成29年度第1回学校マネジメントフォーラム)



セミナーの概要

7月27日(木)

- 1 開講式
- 2 講義・「教職員の多忙化と勤務実態に関する研究」
東北大学大学院教育学研究科
准教授 青木 栄一 氏
・「学校の業務改善」
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
主席研究員 善積 康子氏
- 3 研究協議Ⅰ「各地域、各学校等における多忙化の現状と課題の情報共有について」

7月28日(金)

- 1 事例発表「特色ある業務改善の取組」
①富山県における業務改善の取組み 県教職員課
②子どもと向き合える時間を確保し、
必要な教育活動を充実させるために
埼玉県戸田市教育委員会 教育長
- 2 研究協議Ⅱ「事例及び各自治体の現状を踏まえた業務改善の実現について」
- 3 閉講式

昨年の「キャリア教育指導者養成研修」に続き、政府関係機関の地方移転における研修機能の一部移転の一環として、「校務の業務改善推進セミナー」が本県で開催されました。本セミナーの目的は、学校現場における業務改善の取組の一体的・統合的な推進のために必要な知識や具体的な方策等について、教育委員会や学校関係者等による研究協議等を通じて深めることです。

全国から154名が参加し、講義や事例発表をもとに、熱心な協議が行われました。



開講式の様子



青木 栄一 准教授



善積 康子 主席研究員



受講者による熱心な協議

平成29年度「高校生とやま県議会」開会

高校生の主体的な政治参加意識や地域社会へ参画する意識の向上を図ることを目的に今年度も「高校生とやま県議会」を実施します。県内の高校2年生40名が「高校生議員」に選ばれ、8月8日から5つの委員会に分かれて議論がはじまりました。12月の本会議では、「高校生が考える元気とやまの創造」について提案する予定です。



教育長より認定証を授与される高校生議員の代表



第1回委員会活動の様子

第34回「とやま賞」贈呈式

第34回「とやま賞」贈呈式が5月30日(火)富山国際会議場で行われ、学術研究等で顕著な業績を挙げた研究者等を称え、石井隆一富山県ひとづくり財団理事長が賞状と奨励金の目録を贈呈しました。引き続き受賞者による記念講演が行われ、研究の内容や苦労したことなどを分かりやすくお話いただき、会場の高校生からの質問にも答えていただきました。

「とやま賞」は、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体に贈られ、今回で34回を数えます。

詳しくは財団ホームページをご覧ください。<http://www.t-hito.or.jp/zaidan/index.html>



第34回「とやま賞」受賞者 (敬称略)

学術研究部門 (医 薬) 中瀬 生彦 (大阪府立大学) (理 工) 伊野部 智由 (富山大学)
 (人文社会) 小西 いずみ (広島大学)
 科学技術部門 竹井 敏 (富山県立大学) スポーツ部門 田知本 遙 (ALSOK)

埋蔵文化財センター 出前授業

埋蔵文化財センターでは、小・中学生、高校生などを対象に、出前授業を実施しています。授業では、県内の遺跡から出土した本物の縄文土器や弥生土器にふれることができるほか、火起こし体験や、まが玉づくりなどの考古体験とおして古代の人々の技や暮らしを学びます。

出前授業はセンターで随時受け付けており、考古学の専門職員と社会教育主事が学校の学習のねらいや要望に合わせた授業を行います。ぜひ、社会科や歴史、総合的な学習の時間にご利用ください。



出土品にふれる小学生

第1回 とやま親学び推進協議会、推進リーダー等研修会を開催

家庭の教育力の向上を目指した「親を学び伝える学習プログラム」を活用した「親学び講座」は、昨年度、公立小中学校での実施率が100%となりました。幼稚園等での開催も含めると34,777人が参加しています。

5月22日(月)、第1回とやま親学び推進協議会を開催し、親学びの意義や、参加の機会の拡大、継続していくための体制づくり等について協議しました。

また、6月17日(土)と25日(日)に、県内4会場で「推進リーダー等研修会」を開催し、各中学校区に配置した推進リーダーを中心にPTA等も含め113人が受講しました。演習と意見交換を通して、「親学び講座」を運営・進行する技術や、リーダーとしての資質の向上を図りました。

子どもたちの健全育成のきっかけをつかむためにも、多くの保護者の方々に「親学び講座」に参加していただきたいと思います。



第1回とやま親学び推進協議会



推進リーダー等研修会

中学校・高等学校卒業者の進路状況調査結果 —平成29年5月1日現在—

1 中学校

平成29年3月に県内の中学校(国立1校、公立80校1分校、私立1校)を卒業した生徒は10,111人(男子5,136人、女子4,975人)で、前年より16人増加しました。〈表1〉

高等学校等進学率については、99.3%(前年99.0%)で、全国第5位(前年第13位)となっています。〈表1・表2〉

就職率は0.2%(前年0.3%)でした。〈表1〉

〈表1〉 中学校卒業者の進路状況

各年3月	実数(人)						割合(%)		
	a 卒業生	b 高等学校等 進学者	c 専修 学校等 進・入 学者	d 就職者	e その他	f (再掲) b,cの うち 就職者	b/a 高等 学校等 進学率	c/a 専修 学校等 進・入 学率	(d+f)/a 就職率
25	10,098	9,982	2	26	88	2	98.9	0.0	0.3
26	10,063	9,968	4	29	62	3	99.1	0.0	0.3
27	10,189	10,101	4	19	65	1	99.1	0.0	0.2
28	10,095	9,995	5	24	71	3	99.0	0.0	0.3
29	10,111	10,038	3	15	55	2	99.3	0.0	0.2

2 高等学校

平成29年3月に県内の高等学校(公立41校2分校、私立10校)を卒業した生徒は9,115人(男子4,574人、女子4,541人)で、前年度より46人減少しました。〈表3〉

大学等進学率は52.2%(前年52.0%)で、全国第20位(前年第21位)となっています。〈表3・表4〉

就職率は22.3%(前年22.8%)でした。〈表3〉なお、県内就職割合は91.8%(前年95.1%)で全国第6位(前年第2位)となっています。

卒業者に占める進学者と就職者の合計の割合は98.5%(前年98.3%)で、2年ぶりに全国第1位(前年第3位)となっています。〈表5〉

〈表2〉 高等学校等進学者の進路先状況

区分	進学者 総数	高等学校			高等専 門学校	特別支 援学校 高等部
		全日制	定時制	通信制		
実数(人)	10,038	9,372	266	44	263	93
割合(%)	99.3 (99.0)	92.7 (91.8)	2.6 (3.1)	0.4 (0.6)	2.6 (2.8)	0.9 (0.8)

(注) () 内は、前年度調査結果の数値である。

〈表3〉 高等学校卒業者の進路状況

各年3月	実数(人)						割合(%)					
	a 卒業生	b 大学等 進学者	c 専修 学校等 進・入 学者	d 就職者		e その他	f (再掲) b,cの うち 就職者	b/a 大学等 進学率	c/a 専修 学校等 進・入 学率	(d+f)/a 就職率	(b+c+d)/a 進学と 就職の 割合	
				正規	非正規							正規
25	9,566	5,003	2,388	—	—	208	—	—	52.4	25.0	20.6	97.8
26	9,106	4,712	2,220	—	—	167	—	—	51.7	24.4	22.2	98.2
27	9,365	4,870	2,288	2,061	2	144	18	0	52.0	24.4	22.2	98.5
28	9,161	4,762	2,156	2,076	7	160	8	1	52.0	23.5	22.8	98.3
29	9,115	4,760	2,190	2,024	3	138	7	0	52.2	24.0	22.3	98.5

(注) 「その他」には、一時的就労者(アルバイト等)を含む。

表中「d」[f]内の「正規」は正規の職員等で、「非正規」は正規の職員等でない者。なお、「正規」「非正規」の区分は、H27より学校基本調査項目に追加された。

〈表4〉 大学等進学者の学校種別・設置者別進学状況

区分	大学等 進学者 総数	大 学				短期大学			そ の 他	
		計	国立	公立	私立	計	国立	公立		私立
実数(人)	4,760	4,047	1,262	359	2,426	645	2	30	613	68
割合(%)	52.2 (52.0)	44.4 (43.8)	13.8 (13.3)	3.9 (3.3)	26.6 (27.2)	7.1 (7.1)	0.0 (0.0)	0.3 (0.3)	6.7 (6.8)	0.7 (1.0)

(注) 「その他」は、大学・短期大学通信教育部、高等学校専攻科及び特別支援学校高等部専攻科等である。() 内は、前年度調査結果の数値である。

〈表5〉 高等学校卒業者に占める進学者と就職者の合計の割合(進路決定率)

区分	H25	H26	H27	H28	H29
割合(%)	97.8	98.2	98.5	98.3	98.5
全国平均(%)	93.8	94.3	94.7	94.9	94.6

(注) 進学者と就職者の合計の割合は〈表3〉の(b+c+d)/aである。



ストレスチェックについて —教職員のメンタルヘルス—



自分自身で心の健康状態をチェックすることはストレスへの気づきを促し、健康管理や精神疾患の未然防止にも役立ちます。ご自身の健康は、まずはご自身で守りましょう。県教育委員会では、本年度もストレスチェックを実施しております。

心のセルフチェックシステムのご案内

公立学校共済組合では、教職員の方がインターネットを使っていつでも利用できる心のセルフチェックシステムの運用をしております。初回のみ最新号の「共済フォーラム」に記載されておりますユーザー名・パスワードでログインしてください。
<https://kokoronokenkou.jp/Stress/LoginPortal.aspx>

また、その他、県教育委員会と公立学校共済組合富山支部では、「教職員・心の健康管理医」として専門医を委嘱し、無料の個別相談を実施しています。お気軽にご相談ください。

個別相談等の詳しいお問合せは、公立学校共済組合富山支部健康管理係まで TEL: 076-432-7176

インフォメーション

場所 内容 対象 募集人数 応募要領 休館日
募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

入場無料 富山県民謡舞連盟 (生涯学習・文化財室) 問☎076-444-3456

第66回富山県民謡舞大会「ふるさと民謡舞まつり」

期日) 10月22日(日) 13:00開演

県内に伝承されている民謡民舞が一堂に会し、日頃の練習成果を発表します。

クロスランドおやべ メインホール
開演：13:00 (開場：12:00)

無料



過去の大会より

開催案内 富山県中学校文化連盟 (富山市立呉羽中学校内) 問☎076-434-3200

第22回 富山県中学校文化祭

期日) 10月8日(日) 9:00~16:00

新川文化ホール
無料 (見学自由)

県下の中学生が一堂に会して、日頃の文化活動を発表する中学生の文化祭(美術・郷土芸能・演劇・音楽・新聞・文芸・書道・放送・茶道・科学・意見発表、特別展示の10部門)



平成28年度 ステージ発表(演劇)

開催案内 富山県高等学校文化連盟 (県立高岡高校内) 問☎0766-29-2530

第29回 富山県高等学校文化祭

期日) 10月28日(土)~30日(月)

富山県民会館 無料 (見学自由)

本県高等学校等生徒が、日頃の文化・芸術活動の成果を発表する文化祭です。高校生の若々しい感性と才能を広く県民の皆さんに知っていただく絶好の機会となっています。ぜひ、ご来場ください。



平成28年度 開会式の様子

申込不要 入場無料 富山県生涯学習カレッジ本部 問☎076-441-8401

第29回 県民カレッジ学遊祭

期日) 10月7日(土) 9:30~16:00

富山県教育文化会館

県民カレッジ講座の受講者、生涯学習団体および一般県民が一堂に集い、学習成果の発表や展示、交流を行う。表彰式・上映会、講座、ステージ発表、展示、実演、お茶席など。

富山県生涯学習カレッジ本部
076-441-8401

http://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/



平成28年度 開催風景

作品募集 富山県映像センター 問☎076-441-8455

とやま映像コンクール

期日) 8月2日(水)~12月8日(金)

富山県民が自らの手で作った「未来に残すべき映像」を広く募集します。「ふるさと部門」「自作視覚教材部門」があり、優秀作品は「県の映像財産」として上映やDVD収録など有効活用されます。

http://www4.tkc.pref.toyama.jp/eizou/



ご応募お待ちしております!

受講者募集 富山県映像センター 問☎076-441-8455

学んで活かそう!著作権 ~それ、違法です~

期日) 10月29日(日) 13:00~16:30

富山県教育文化会館 5階

講師) JASRAC 北陸支部長

赤塩 康幸 氏

著作権制度の基礎知識

音楽や映像などの著作物の使い方等

無料

10月28日(土) (定員になり次第締め切ります)

http://www4.tkc.pref.toyama.jp/eizou/



平成28年度 開催風景

入場無料(参加自由) 富山県生涯学習カレッジ富山地区センター 問☎076-441-0301

平成29年度 県民カレッジ富山地区センター学遊祭

期日) 11月3日(金・祝) 9:30~14:00

県民カレッジ富山地区センター「学遊祭」と雄峰高校「学園祭」の共催。生涯学習団体、自遊塾、共学講座等の作品展示やステージ発表があります。来場をお待ちしています!



平成28年度 開催風景

入場無料(参加自由) 富山県生涯学習カレッジ新川地区センター 問☎0765-22-4001

第17回 新川キャンパスフェスティバル

期日) 10月21日(土) 一般開放11:00~15:30
(展示は14時まで)

社会人受講者と新川みどり野高校の生徒が、学習の成果を展示・発表します。各種即売会も予定しています。ステージイベントは、桂 米福氏(富山県出身)による落語です。お気軽にご来場ください。



落語家 桂 米福氏

入場無料(参加自由) 富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター 問☎0766-22-5787

平成29年度ウイング・ウイング祭

期日) 10月20日(金)~21日(土)

県民カレッジ高岡地区センター「学遊祭」と志貴野高校「文化祭」の開催。アフリカンパーカッショングループによる記念公演(20日、無料、先着順)や、生涯学習団体、自遊塾、共学講座等による作品展示やステージ発表を予定。



平成28年度 展示室の様子

入場無料(参加自由) 富山県生涯学習カレッジ砺波地区センター 問☎0766-61-2020

第17回 となみキャンパスフェスティバル

期日) 11月11日(土) 9:00~15:30

となみ野高校の生徒と社会人受講生が、日ごろの学習成果(ステージ発表、作品展示、パネルによる活動紹介、模擬店など)を発表します。ぜひ、ご来場下さい。



平成28年度 開催風景

入館無料 富山県埋蔵文化財センター 問☎076-434-2814

開所40周年記念 特別展 「遺跡保護のあゆみ ー富山県40年間の発掘調査で解き明かされてきた歴史の数々ー」

期日) 平成29年10月6日(金) ~平成30年3月22日(木)

センター設置40年を迎えることから、これまでセンターが国・県の大規模発掘と埋蔵文化財の保護に果たした役割を、センターがかかわった遺跡の発掘調査を紹介しながら振り返ります。

無料



不動堂遺跡

総合教育センター NOW

教育相談部 平成29年度 保護者との良好な関係づくり研修会について

保護者との対応で悩む教師が増えています。今年度「保護者との良好な関係づくり研修会」を開催しました。保護者からの学校に対する要望を的確に把握し、迅速に課題を解決するための連携の在り方について研修し、学校の組織的な対応力の向上を図ることをねらいとしています。その研修内容を紹介します。

8月7日(月) 13:30~16:30

演題 「保護者との望ましい連携の在り方」

講師 共栄大学 教授 和井田 節子 氏



保護者問題が増加する背景には…

- ①教育の質向上への要望があります。
- ②多様な生活様式や価値観を受け入れてほしいという要望があります。
- ③以前はコミュニティで解決できていた個人的問題の解決も学校に期待されています。

保護者を温かく迎え入れよう

保護者の不安を和らげよう

- ・こちらから迎え入れ、学校に来てくれたことをねぎらしましょう。
- ・お茶を出しましょう。お茶は、話し合える雰囲気をつくり、相手を受け入れる姿勢を示すことになります。



保護者の気持ちを聴こう

- ・保護者の「不安」「悲しみ」「願い」を感じ取ります。
- ・複数で面談すると冷静な対応ができます。また、保護者も話題に応じて言いやすい人に話ができます。

チャンスと捉えよう

- ・もめごとはよりよい発展のチャンスになる可能性があります。肯定的な側面があることを信じましょう。

保護者と協調する道をたべよう

保護者はパートナー

原因探しは、もめる原因

- ・家庭は学校に、学校は家庭に原因を求めがちです。
- ・原因よりも、解決に至る目標を探しましょう。
- ・悪者をつくらず、「学校と保護者と子ども本人とが力を合わせて問題を解決しよう」という姿勢で取り組みます。

「子どもの成長」という願いを保護者と共有しよう

- ・面談では、子どものがんばっている姿をまずは伝えます。
- ・通信等で、子どもたちの様子について保護者へ日常的に情報提供を行いましょう。

解決方針を探すワークシート

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1 保護者が主張していることは何か | 6 悪化させないためには何が重要か |
| 2 保護者の不安は何か | 7 問題解決のために子ども自身ができることは何か |
| 3 保護者は我が子にどうなって(あって)ほしいのか | 8 問題解決のために保護者ができることは何か |
| 4 保護者は学校にどうなって(あって)ほしいのか | 9 一歩改善するために学校(担任・校長等)ができることは何か |
| 5 子ども自身は何を願っているか | |

ロールプレイでお互いの気持ちを知る



【保護者の訴え】

卒業アルバムには、集合写真を除けば、うちのタロウがたった1枚しか写っていないじゃないか。それも遠くで小さく写っているだけだ。ところが、近所の同級生は大きい姿で5枚も写っている。こんなアルバムは記念にはならない。作り直せ!

「作り直せ」の言葉の裏には、普段から先生に相手にされていないと思っているタロウ君の悲しみ、それを受け止める父親の悲しみがあります。先生の気持ちをタロウ君に伝えたり、学校側の今後の体制や再発防止について父親に説明したりすることが考えられます。



アルバム委員で一生懸命編集したこと等、製作に関わって努力したことを伝えたが平行線で終わった。 【先生役の感想】

学校側から「作り直しはできない」とはっきりと言われたとき、自分は無理難題を言っていたのだと自覚した。 【父親役の感想】



教育研修部

平成29年度小・中学校及び県立学校教頭研修会(初任)について

6月27日(火) 全日・28日(水) 午前の一日半にわたり、小・中学校及び高等学校・特別支援学校の初任教頭を対象に、標記の研修会を実施しました。1日目は、「全校で取り組む特別支援教育」と「学校組織とマネジメント」についての講義・演習を行いました。2日目は、「学校組織マネジメント指導者養成研修報告」ののち、「学校組織とマネジメント」についての講義とSWOT分析・戦略マップづくりを行いました。

受講者からは以下のような声が聞かれました。

「全校で取り組む特別支援教育」について：

- ・特別な支援を必要とする児童生徒に対応するためには、私たちが多様な対応力をもっていなければならないと思いました。
- ・「Why? (なぜやった?)」ではなく「How? (今後どうする?)」が基本である、というフレーズにはっとしました。

「学校組織とマネジメント」について：

- ・学校組織が動き出すためには目標を具現化することが大切であり、その目標設定に全教職員が参画することが重要であることを理解できました。
- ・戦略マップを作成する過程は実践的でとても分かりやすく、目指す学校像を共有できました。



講義「全校で取り組む特別支援教育」



講義「学校組織とマネジメント」



発表「戦略マップづくり」

科学情報部

「教育資料室」・「カリキュラム支援室」

～教材研究・授業づくり・生徒支援等のために活用してみませんか?～

富山県総合教育センターの3階に、「教育資料室」と「カリキュラム支援室(資料室分室)」があります。通常の図書館と違い、教育関係に特化して、専門書や雑誌・資料を所蔵しています。

教育資料室には、県内各学校の実践報告書、教育研究のための専門書、教育関係雑誌等をはじめ、各県の教育センターや大学の紀要、各種教育団体の研究資料や実践報告書等をそろえています。平成29年7月現在で、9万3千冊あまりの書籍・文献を有します。

授業の実践報告書や学習指導案等もたくさん保管してありますので、教材研究、授業づくりに大いに活用できます。また、発達障害等の、児童・生徒を支援するための書籍・文献もそろっており、教育雑誌からは、最新の教育事情が分かります。

カリキュラム支援室は、教育資料室の分室として、教科書、学力向上拠点校の研究報告書、スーパーサイエンスハイスクール関係の資料を展示しています。また、県内特別支援学校の「個別の教育支援計画」・「個別の指導計画」の様式と作成の手引き等が保管されています。

富山県総合教育センターのホームページで、「教育資料」をクリックすると、「教育資料データベース」の検索ができます。14万2千件あまりの書籍や文献の目録が登録されています。

閲覧や貸し出しも行っていますので、是非ご活用ください。
(利用時間は原則として平日の8時30分～17時)



<http://siryo.el.tym.ed.jp/>



教育資料室(教育ビル3階)

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

真の人間力を育む教育の推進

—「探究力」をもとに自ら未来を切り拓く力を育てる—

富山県立富山高等学校

富山高等学校は、明治18年(1885年)に創立された県内一の伝統校です。「学びたきもの集う」を創校の志とし、「慎重敢為」の校訓のもと、グローバルな視点を持ちつつ、ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、地域社会や全国、世界で活躍し、未来を切り拓く人材を育てています。

探究科学科では、1年生の巡検研修でスーパーカミオカンデや「KAGRA」など最先端の研究施設や立山カルデラなど本物にふれる機会を数多く設けています。また、ノーベル賞受賞者の梶田隆章氏やとよま賞受賞者など一流の研究者の話聞く機会を積極的に持ち、生徒の知的好奇心を高めています。2年生での2泊3日の東京・筑波研修においては、東京大学やJICA等を訪問し、理数科学科、人文社会科学科ともに知見を広めています。また、普通科との共通行事として、グローバルリーダーの育成を図るアメリカ研修(10日間)でも、英語力の向上など多くの成果を上げています。

探究力が大いに発揮されるのが富山高校の伝統行事である「文化活動発表会」です。昨年度は「源」を統一テーマとして、各クラスで宇宙、水、和菓子など様々な切り口からこのテーマに迫りました。発表会の当日は、クラスごとに展示ブースを設けてポスターセッション等で研究の成果を発表します。生徒からは「研究のテーマ、方向、実験方法など、すべて自分たち(班)



アメリカ研修

で決めなければいけないので苦労もあるがとてもやりがいがある楽しい」などの声が多く聞かれます。

このように富山高校では、21世紀をたくましく生き抜く力として求められる課題発見能力や課題解決能力、高いコミュニケーション能力等の育成を目指して、教職員が一丸となって取り組んでいます。

また、富山高校では、学習とともに体育大会、文化活動発表会などの学校行事や部活動の取組を重視しており、文武両道を実践し「知・徳・体」のバランスのとれた生徒を育てています。

こうした取組を通して、生徒一人一人が、真の人間力を育んでいるに違いないと実感できる訪問となりました。



ポスターセッションの様子

リレーエッセイ

「何で英語をやるの？」

西部教育事務所長 阿尾 行将

学生時代、英語が苦手だった。単語や文法を覚えることも苦痛だったし、英語を話すことも何か気恥ずかしく、消極的で、今で言えばコミュニケーション能力が乏しい生徒であった。大学入試では、英語の配点が高いところは早々に不戦敗を決め込んだ。そして、英語を流ちょうに話す人を見るとうらやましく思いながらも、「何で英語をやるの?」とよく思ったものだ。

数年前、NHKの「ニュースで英会話」などで有名な鳥飼玖美子先生と話す機会を得た。鳥飼先生によると英語と日本語はまるきり違う言語であり、日本人が英語を上達するには、かなりの時間と努力が必要であると言われた。そして、それでも英語を学んだ方がよい理由として、「英語であれ何語であれ、外国語は日本語にない世界をもっている、外国語を学ぶことは、今まで知らなかった異質な世界を知ることができる」、「英語は国際共通語であり、異文化をもつ世界の人々とコミュニケーションをとるためには英語が必要である」という二つをあげられ、「外国語を学ぶことで自分の世界が広がり、言葉を通して人や社会と繋がることは人生を豊かにする」とも話された。

平成32年度から、小学校では外国語活動の開始時期が3年生に早まり、5年生からは外国語が教科となる。また、大学入試においては、英語の4技能すべてを測るため民間試験が活用される見込みであると聞く。日本の英語教育は大きく変わろうとしているが、児童生徒から発せられる「何で英語をやるの?」という疑問と一緒に考えて、学ぶ意欲を喚起するような動機付けを与えたりすることが教師の役割として大切なのではないか。そんなことを思う「グローバル人材」からは程遠い私である。



■執筆者プロフィール

水見市出身 西部教育事務所主任管理主事、高岡市立国吉中学校長、高岡市教育委員会教育次長を経て平成28年4月より現職

御意見・感想・学校が元気になるアイデア等お寄せ下さい。

教育長への直通メールアドレス：ml-powerup@pref.toyama.lg.jp